



東奥日報

2005年 4月17日 5月19日 水曜日

環境を守るヒーロー誕生

八戸市職員6人「エコレンジャー」結成



八戸市職員が結成した「エコレンジャー」。中央が市長の「エコ」高橋啓隆

意識啓発に「参上」へ

「環境問題の深刻化が危惧される中、市民の環境意識を高め、持続可能な社会の実現を目指す。八戸市職員が結成した「エコレンジャー」が、市民への環境啓発活動を開始する。

市長高橋啓隆が中心となり、環境課職員ら6人が結成された「エコレンジャー」は、環境問題の啓発活動を行う。メンバーは、市長高橋啓隆、環境課長佐藤隆夫、環境課職員佐藤隆夫、佐藤隆夫、佐藤隆夫、佐藤隆夫。

エコレンジャーは、環境問題の啓発活動を行う。メンバーは、市長高橋啓隆、環境課長佐藤隆夫、環境課職員佐藤隆夫、佐藤隆夫、佐藤隆夫、佐藤隆夫。



2005.5.19
東奥日報新聞

『エコレンジャー』収録風景

環境啓発活動への取り組み方針

- 一般の人にもわかり易く、見てもらえるものになりたい……。
- なるべくイラストや写真・グラフなどを使って、すぐ見てわかるようなものになりたい。
- 環境問題というむずかしい内容をおもしろおかしく興味をもって見てもらい、理解してもらえるようなものになりたい。

八戸市は、限りある資源を有効に利用し、

持続可能な循環型社会を構築するため、

市・事業者・市民が一体となって、

ごみの減量とリサイクルを推進し、

「循環型都市」の実現をめざすことを宣言します。



循環型都市宣言(第2回八戸市環境展にて)